

僕の手作りです。
両面あります。

2008年 秋号

GIFU is Changing...



おつかれさまです。

ひとつひとつを丁寧に。
市議会だよりです

最年少

岐阜市会議員 和田直也 28歳

和田直也を大きくする会

〒500-8851 岐阜市大宝町1-5
TEL+FAX: 058-251-2638
office@wada-naoya.jp
www.wada-naoya.jp



Supporter
応援団から一言

彼は誠実です。
岐阜市というまちに、
岐阜県という地域に、
日本という国に、
彼は誠実な男です。

元読売新聞編集委員
立命館大学教授 斎藤喬

温厚な性格でいつも
笑顔絶やさない。
でも、胸の中には常に
熱い岐阜への想いが！
太陽のような人です。

木之本小学校からの友人
デザイナー 谷口奈緒美

何かを犠牲にしても
目標を達成する
強い意志の持ち主です。
最も信頼している大切な
友人の一人です。

本荘中学校からの友人
江崎製菓 江崎寛

カラダは小さい。
けれど、
頭の中はいつも岐阜。
その名前は……
和田直也！

本荘中学校からの友人
エンジニア 竹中雅季

今まさに地方の時代。和田直也君は、高校時代からNPO活動などを通じ、岐阜市のまちづくりに
真剣に取り組んでいます。未熟な和田直也君を大きくし、和田直也君と共に岐阜の明日をつくりましょう！



最年少

岐阜市議会議員 和田直也 Profile → いつも青空が広がるまちへ

1980 岐阜市にて生まれる
(岐阜幼稚園、木之本小学校、本荘中学校 卒業)
1999 県立岐阜商業高校 国際コミュニケーション科 卒業
2006 立命館大学大学院法学研究科 修了(法学修士号取得)
(株)HAテレコム社員、(任)再生日本研究員を兼務
2007 岐阜市議会議員 初当選(26歳)
【現在】 厚生委員、総合交通対策特別委員、児童福祉審議委員
副業として・・・Webデザイン(この議会だよりも手作り。制作費はゼロ)

皆様のご支援のおかげで
元気に仕事させて頂けます
そのことに
素直に感謝をしながら
岐阜市のこれからのために
誠意を尽くしたい
と思います



市岐商・立命館問題 = 08年9月10日 岐阜市議会本会議で質問 =
市長は的確な政治判断を、当事者は冷静に問題処理を

Q6. 市岐商と立命館岐阜高校の構想について ※ Q1~5は裏面をご覧ください

私は42万県都・岐阜市の細江市長が立命館誘致表明をした以上、これは「政治判断」だと理解するのが自然だと思います。したがって、もう一方の政治判断を担う議会は、細かいことばのあらさがしで相手をつつくような手続論をやめ、岐阜市の将来を見据えた政策論を大事にしなければなりません。議会の判断は、さまざまな方面に影響を及ぼします。したがって「長い目で判断しなくてはならない」けれども、その判断に至る過程をいたずらに長くしてはいけません。議会が頂いた時間はそう長くはない、これも政治的配慮として心がけなくてはなりません。これからの時代、都市間競争はますます激しくなります。「資源のない日本は、科学技術と外交で国を支えていかねばならない。そのためには、ものづくり産業を支える理数教育をはじめ、国語・英語教育が必要となる。それを

「市岐商・立命館問題対策特別委員会」が設置されました

今期定例会において特別委員会が設置されました。特別委員会は、重要かつ喫緊の行政課題となっている市岐商の存廃及び立命館からの提起に係る調査研究を行い、岐阜市の教育行政のあり方について検討することを目的としています。残念ながら私は委員になれませんでした。今後、スピード感をもって進むよう期待しつつ、審議を見守りたいと思います。

市岐商・立命館守山高校を訪問

有志議員とともに、市岐商、立命館守山高校をそれぞれ訪問しました。限られた財政状況の中で今後の公立の学校運営をどうしていくかに加え、公私間協力による新しい学校づくり、まちづくりの在り方についても研究を重ねていきます。



市立岐阜商業高校



立命館守山高校(滋賀県守山市)

A. 細江茂光 市長

市岐商関係者に対する説明責任については、タイミングを計って私自身しかるべき時期に直接説明する機会を設けたいと思います。私の好きな言葉に「不易流行」という言葉があります。かねてこの地域は美濃という名で呼ばれていました。それがいま岐阜市という名で呼ばれています。名前が変わっても精神は残っている、私の母校である小学校も統合され、名前はなくなりました。しかし、私たちの中に流れている母校の精神は、しっかり合併された新しい学校の中に生きています。名前がなくなるのは本当に辛いことですが、将来を見据えてご理解を頂きたいと思います。立命館からは、卒業生に対する配慮(ご理解が得られれば同窓会の発展継続)、在校生に対する配慮(商業系特設コースの設置、学費の据え置き、野球等

スポーツの大学との連携強化、立命館大への一定枠の進学)、市内中学生への配慮(推薦枠の確保、市内在住者一定数の学費3割免除)など、伝統ある市岐商を引き継いでいきたいという提案を頂いています。また、立命館は地域貢献策として、大学の教員を講師とし、英語・理科・数学等の研修センター設立や市民の皆様が参加できる各種市民講座の開講も計画されていることから、「教育立市」を目指す岐阜市が、「教育によって選ばれる都市」になるという目的にも叶っていると考えています。都市間競争は今後ますます激しくなり、少子化が進行する中で、若年人口を招き入れるだけでなく、育てていけることが大切になってくる、そんな中でアジアや世界を大きく捉えて、ものづくり産業を支えていく教育を展開しようとする立命館の方針は、我々が目指す理念と合致していると思えます。